



いっ ぽ さ だく しよ かん そう ぶん
 なつ やす しゆく だい
**一步差がつく読書感想文で、
 夏休みの宿題もばっちり!**

おもいをつた へん ちから
**思いを伝える
 「話す力」**

さ
 差がつくポイント

- 1%の小学生だけが知っていることを伝えられる。
- 読書メモで、書きたいことがスラスラ出てくる。
- メモの順番で書けば、構成が整った作文が書ける。

つぎ
 次の3つのステップで取り組んでみましょう。

ステップ 1

どく しよ
 読書メモの

①～⑥の質問に答える。
 (書けるところだけでOK)

ステップ 2

か
 書きたいものを

①～⑥から選ぶ。
 (□に✓をつける)

ステップ 3

かんが り ゆう じ ぶん
 考えた理由や自分の

体験とつなげながら書く。

| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|--|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|
| ⑥ 99%の小学生は気づいていないけど、自分が気づいていることはどんなこと? | ⑤ この本を読む前と読んだ後で、なにか変わったことはあるかな? | ④ 「話す力」を発揮して、これからどんなことをしていきたい? | ③ あなたの「イタイコト」はどんなことかな? | ② 初めて知ったこと、おどろいたことはどんなこと? | ① 友だちや家族に教えたいと思ったのはどんなこと? |

読書メモ

感想文の題名
 にもおすすめ

おうちの方へ

「99%の小学生は気づいていない!？」シリーズは小学生向け学習読み物なので、「何を学んだか」ということ中心にした読書感想文を書くのがおすすめです。この読書メモではその気づきにつながるような質問をあげています。お子さまが書くのに困っているようでしたら、おうちのかたの気づきや感想、質問を伝えてみてください。多面的な視点で内容を理解し、自分なりに考えることにつながり、読書感想文も書きやすくなります。本を通して親子で対話をするのも、体験の一つとなり、とても有効です。ぜひお子さまと一緒に本書をお読みください。